

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	女子栄養大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジョシエイヨウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	長期学校体験実習
	学部・研究科等名	栄養学部 保健栄養学科 保健養護専攻
	担当教職員名・役職	野中静・教授、遠藤伸子・教授、大沼久美子・准教授、鞠子佳香・専任講師、久保田美穂・専任講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	65
	受入企業等数	34
	受入企業等名	坂戸市立小学校・坂戸市立中学校、鶴ヶ島市立小学校・鶴ヶ島市立中学校、埼玉県立鴻巣女子高等学校、埼玉県立川越工業高等学校
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	3.その他
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	公立小学校・中学校、県立高等学校の教職体験
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業補助、授業資料作成補助、児童・学生相談、遊び相手、校内環境整備、学校事務作業、学校行事の手伝い、保健室補助(データ入力含む、掲示物作成)、特別支援学級の補助、給食と掃除など
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	二年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	6
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前指導2単位、校外実習4単位
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	児童生徒及び教職員に対する挨拶練習を含むマナー、実習生の心構えなど。通学時の交通マナー(警察署による講和・実習等を含む)など。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事例発表や討議、実習報告会など
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	各実習施設につき2回、大学の担当教員が訪問指導に赴き、実習受け入れ校の担当者とも意見交換を行うなど。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学が作成した長期学校体験実習に関するアンケートに回答し、担当教員や学科教員で共通理解をする。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	24日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	34日間(実習校に赴いての実習は24日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	24日間
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	

	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前指導:8月・9月中の4日間実習期間:9月26日～10月20日の火・木・金曜日、10月31日～11月24日の火・木・金曜日中間指導:10月の3日間事後指導:11月～12月の3日間
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習前に大学で説明会を開催・実習後に報告会を開催(意見交換や報告等も含む)している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://cpweb.eiyo.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
問い合わせ先	大学等名	女子栄養大学
	担当部署名	学長室学長事務課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	渡部修司
	電話番号	03-3915-3625
	メールアドレス	wshuji@eiyo.ac.jp